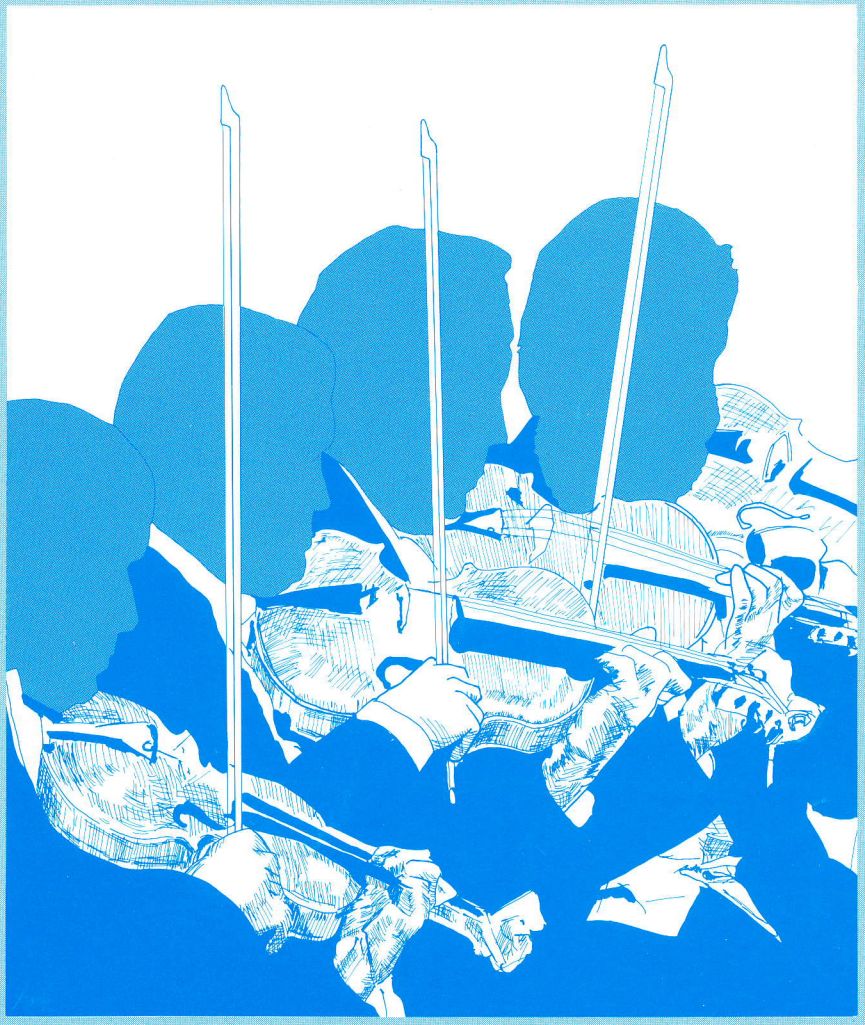
Summer Concert



1986.7.8.(火)　神戸文化ホール(大)　7:00開演

神戸大学交響楽団

後援　兵庫県教育委員会・兵庫県オーケストラ協議会・神戸市民文化振興財団・神戸新聞社

Program

歌劇「セヴィリアの理髪師」序曲　　ロッシーニ
指揮 本村公玄

「小組曲」（ビュッセル編曲）　　ドビュッシー
指揮 堤　俊作

―――― 休　憩 ――――

交響曲 第5番 ホ短調 作品64　　チャイコフスキー
指揮 堤　俊作

御挨拶

神戸大学経済学部教授　**新保　博**

暑い夏がふたたびめぐってきました。わが神戸大学交響楽団のサマー・コンサートのシーズンです。今回もサマー・コンサートにふさわしいロッシーニ、ドビュッシー、チャイコフスキーの爽やかな音楽を、プログラムとして組みました。音楽を愛する皆様に心のこもった演奏をお聴かせすべく、われわれは4月に入学した新しいメンバーを加えて、日夜練習にはげんでまいりました。その成果については皆様のご批判にまかせなければなりませんが、音楽を愛する心だけはどのオーケストラにも負けないと確信しております。

夏の宵を美しい音楽でお楽しみ下さい。

響友会会長　**岩崎純一**

夏の昼間は日差が烈しくて些か疲れを覚えますが、日暮ともなれば、涼しい風が肌ざわりも心地よく感ぜられる頃となりました。

本日は神戸大学交響楽団のサマーコンサートにお越し頂きまして誠に有難うございます。皆様のご期待に添うべく、夏の夜に相応しい曲目を揃えて熱演いたしますので、日頃の練習の成果をごゆっくりご鑑賞いただき度く存じます。そして当大学交響楽団に対して、心からのご批判とご支援をお願い申しあげる次第でございます。

本日のご来場を心から厚く御礼申しあげまして私のご挨拶といたします。

指揮者　堤　俊作

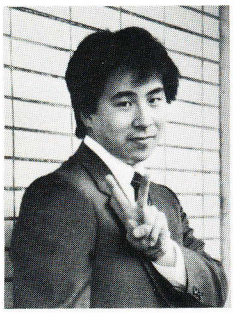
1947年、大阪に生れる。幼少よりヴァイオリンを学び小杉博英、土方規久の両氏に師事。桐朋学園子供のための音楽教室、桐朋学園高校の音楽科を経て、1970年桐朋学園大学音楽学部を首席で卒業。在学中はコントラバスを専攻し、赤星晃、今村清一の両氏に師事。同事に指揮を故斎藤秀雄氏に学んだ。1971年、東京交響楽団副指揮者に就任。1973年、第2回ルパート指揮者コンクール(ロンドン)第3位入賞。1975年、東京シティ・フィルハーモニック管弦楽団を創立。同時に常任指揮者に就任。1978年、ジュネーブ国際コンクール指揮部門「第1回エルネスト・アンセルメ指揮者コンクール」でスイス・ロマンド管弦楽団を指揮して優勝。以後、ロンドン交響楽団、スイス・ロマンド管弦楽団、ソフィア・フィルハーモニー、デンマーク放送管弦楽団をはじめ、ヨーロッパの一流オーケストラに客演指揮者として招かれている。一方、我国においては名実ともにバレエ音楽の第一人者として、ルドルフ・ヌレエフ、森下洋子、清水哲太郎、イヴリン・ハート、エヴァ・エフドキモア、ベラ・キーロワなど、内外の一流舞踊家たちより絶大なる信頼を得ている。

現在、東京シティ・フィルハーモニック管弦楽団常任指揮者、松山バレエ団音楽監督、桐朋学園大学講師。

トレーナーの先生方

三宅康司（京都市交響楽団・コントラバス奏者）　**川西克明**（ホルン奏者）
稲庭　達（大阪フィルコンサートマスター）　**福富博文**（神戸フィルハーモニックコンサートマスター）
有馬博隆（甲陽学院教諭・オーボエ奏者）　**宮村　聡**（京都市交響楽団・トランペット奏者）

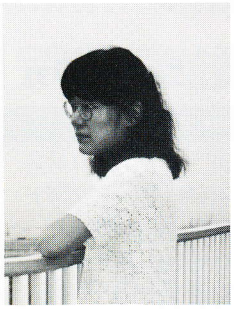
以上の先生方に御指導いただきました。この場をかりて御礼申し上げます。



学生指揮　本村公玄

教育実習を終えて帰ってきた彼は、生徒達から〝たらし先生〟というニックネームがつけられた。彼の素行を知っている人は、ピンとくるだろうが、それは彼の全貌を如実に表わしていると言えよう。兎に角、彼は、何よりまして女性が好きで、かわいい新入生が入ってくると、すかさずボーリングやドライブに誘ったり、運転中後ろ姿のかわいい女性を見つけると、急にスピードを落としてじっくり観察する〝ギャル見運転〟までやってのけるのである。また、夜になると何とも言えぬヨガリ声をあげて、周りを慌てさせるのである。それ故、団員の中では〝マシーン〟とか〝クスマ〟とかいうニックネームがつけられている。

しかし指揮台に立つと、急に人が変わったようにマジメになり、曖気も出さないのである。今宵は、彼の熱烈なる〝熱棒〟とか〝欲棒〟とか呼ばれる指揮ぶりをご覧下さい。



弦楽器チーフ　岩田暢子

すらっとした容姿は女子の羨望を集めているだけでなく、チェロのうしろの方のプルトでは男子後輩の憧れを集めている彼女も、ひとたび弦セクで指揮棒を握り、パー練で〝しばき棒〟(スネアのスティックのちぎれたもの）を手にするや否や、眼光鋭い（あ〜こわ〜〜〜桑原桑原……この目でどんだけ泣かされたことか〜〜〜）ついでに音程やリズムに鋭い人となるのです。また、鋭いと言えば、彼女は、某FgのD嬢との情報交換によって、オケ内のあらゆる出来事（浮いた話はもちろん）にあまりに詳しく、目を見張るのみです。しかし彼女の浮いた話などは一度も聞いたことがありません。これはまことに不思議なことなので、筆者は一度、腰を低くせず、すえてじっくりと理想の男性像などを聞いてみたいです。最後になって恐縮ですが、〝偉大〟この言葉は岩田さんのためにあるのです。